

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フェリチタ			
○保護者評価実施期間	2025年6月2日 ～ 2025年6月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2025年6月2日 ～ 2025年6月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年7月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(児童指導員) ・児童指導員が、非常勤も含め、全員が児童指導員任用資格保持者であるばかりでなく、全員が、教員免許、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、いずれかの資格・免許を持っている。また、進路、就業についても支援の経験が豊富である。	・児童指導員の採用について厳しい条件を求めている。	・職員の研修
2	(支援プログラム) ・5領域の支援を行うにあたり、日々のプログラム、毎日の時間割を決め、計画的に支援を行っている。また、日常的な活動以外に外出活動や、専門的な講師を招くなど豊富な活動を行っている。	・外出活動(博物館等)・オンライン英会話レッスン・芸術鑑賞・茶道体験・法科大学院生による子供のための法律講座等を行っている。 ・就業体験、実際の企業で行われる新入社員研修への模擬参加などもプログラムにある。	・今後も充実させていく。
3	(進路) ・児童発達支援管理責任者が都立特別支援学校高等部職業技術科、職業能力開発科への(受験)進学選考に精通して児童や保護者に説明支援ができる。また、高等専修学校、その他の進路指導経験もある。 ・本社会長が普段から企業の管理職面接や採用面接に携わっており、児童に模擬面接などを行っている。 ・児童指導員も就労に長らく携わっており、企業就労に詳しく、児童、保護者の支援ができる。	・保護者へ受験や就労に必要な準備を説明。 ・本人の受験準備(面接練習) ・専門的な立場からの説明会への出席。 ・進学、自立、就職に向けての具体的な支援	・進学就労について保護者に現実的に伝えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・欠席が多い。	・児童が他の事業所や習い事も含め、予定に余裕がない。 ・送迎をしていないため保護者の負担が大きい。	・欠席の多い方は固定曜日ではなく、希望制にしたい。希望制にし、前月に予定を出していただく。 ・契約前に、移動支援の利用や保護者が送迎する大変さをご説明するようにした。
2	・知名度が低い。(特に必要としている方への)	・ほかの放課後等デイサービスとは特化している内容が違うため。	・今後、ホームページだけでなく、学校、教育相談、スクールカウンセラー等への情報発信をしていく。
3	・アンケート結果を見ると、行われている内容について保護者が知らない場合が多い。	・契約前の説明や個別支援計画等の相談等で説明しただけでは足りない。	・今後アンケート結果の公表についてご覧いただくよう発信し、進んでご質問いただくようにする。